

### 3 重点施策

第3次やまなし食育推進計画の検証結果を踏まえ、食を取り巻く環境の変化や本県の地域性を反映させるなかで、今後の食育の推進を図るため、本計画で重点的に取り組む施策を次のように定めます。

#### 重点施策1 適正体重の維持や減塩等に気をつけた 望ましい食習慣が実践できるよう取り組みを推進

第3次食育推進計画の目標としていた、「朝食を毎日食べる子どもの割合」や「朝食を週5日以上食べる若者の割合」が低下していること、「県民の1日の食塩摂取量」へ継続した取り組みが必要なこと、また、働く世代の男性の肥満や若い女性や高齢者のやせ（低体重）が増加していることを踏まえ、若者から高齢者までを対象とした望ましい食習慣の実践を推進します。

#### 重点施策2 地域の特徴ある「やまなしの食」を体験、継承する取り組みを推進

県政モニターアンケートでは、郷土食の伝承は家庭の役割が重要との意見が多い一方、核家族化が進む等、家庭での継承は難しくなっています。これまでに認定した「やまなしの食」が、確実に次世代へ継承されるよう取り組みを推進します。

#### 重点施策3 食品ロス削減への取り組みを広く促す啓発活動を展開

県民・事業者意識調査の結果、食品ロスの認知度は高く、取り組みも行われていますが、全国で、国民一人あたり毎日茶碗1杯分の食べ物を捨てているという現状を踏まえ、県民や事業者に対し、食品ロス削減に向けた取り組みを進めていきます。

#### 重点施策4 時代のニーズに対応した食育の推進

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外食を控え、家で食事をする機会が増える等生活様式が変化し、また、講演会や研修会等の人と人が集まり学習する機会が失われています。周知や啓発の方法を工夫し、引き続き食育を推進していきます。